

Get The News

G.T.N.

『PTB Quarterly Report February,2012』発行、昨年11月以降のPTBの活動、有識者懇談会、パチンコ懇談会等の報告をまとめる

評価委員会で録画した「女性のパチンコ依存に関するNHKの番組」を上映し感想集約

一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード(略称PTB、代表理事/佐藤公平氏)は、昨年に引き続き、『PTB Quarterly Report』の第3号を発行。今回は、昨年11月以降のPTBの活動、PTB評価委員会、有識者懇談会及びパチンコ懇談会等の活動の報告と成果をまとめた。特に、昨年11月と12月の2度にわたってNHKが放送した「女性のパチンコ依存に関する番組」に焦点を当て、番組録画上映後に出席委員や社団法人担当者らに感想を求めるなど、活発に意見交換を行っている。1月18日開催の評価委員会でNHKの番組「追跡!真相ファイル」『パチンコにはまる女たち』(昨年12/27放送)を録画上映。見た後の感想では「マスコミの視点というのは、こういうことだと分かった」や「もし1パチンコを全面的に禁止しても、また同じようなものが出てくる。結局、原因は他にあるということ」等が挙がった。更に「女性のパチンコ依存は75万人いるという数字のカウンターの仕方はどういうカウントをしたのか?」等も言及。その根拠として「2010年、厚生労働省の発表によると、成人女性の1.6%がギャンブル依存症であることが分かった。成人女性の人口はおよそ5,400万人なので、換算すると75万人になる。また、あさイチのアンケートによると、自ら「ギャンブル依存である」と回答した女性は、1,766人中157人いた。その8割はパチンコ・パチスロにハマっていることが分かった」とNHKの番組「あさイチ」HPでは回答。その他、以下が主な感想。●(パチンコ系)バッシングするでもなく、批判するでもなくNHKらしい番組だと思った。●社会とつながって自分の存在を確認したい、お金が欲しい等は普通の感情。何故、人が何かに依存してしまうのか?それはパチンコを止めれば解

決する問題ではない。一つのきっかけになっている可能性があるなら、そのひびきを、どう回避出来る仕組みを作れるのか? ●5号機になる前に4号機の一掃ひどかったときに、これをもっとやっておかないで、どうしていまさらやるのか? ●ほかのギャンブルでも依存問題はある。なぜ「パチンコ」だけが取り上げられるのか? ●業界別としては、精神科医の先生方が、この問題を正確に取り上げていく仕組みを、もっと支援してきちんとした報告を社会に対して出来るようにするというのが大望だと思う。●沖縄のリカバリーレポート・ネットワーク代表の西村さんが業界からの支援で、電話相談をやってきていて5,000事例くらいの記録がある。沖縄だけでなく東京に相談センターを作ったり、更に医者の方から、もっときちんと調査して社会に発表していただく、そしてそれに對し業界はどう支援出来るのか?をもっと考えていくべき。●個人情報とかプライベートの問題があるのでなかなかできないと思うが、いわゆるホール制が「人拒拒合」のようなことをするとかの上天を、もっと全体的に盛り上げながらやっていかないといけないと思う。●もともと依存の問題は、いろいろな依存の人がいるが、その根本はその人の心の問題で、それが「依存症」と言われるのは、借金問題とか誰かを傷つけたとか問題行動になったときに表出してくる。「依存問題」というのは、もっと違うところに根本があり、いま「パチンコ」というのは取り上げ易い問題なので、取り上げられても仕方ないと思うが、もう少し依存そのものの問題について、きちんと取り組んでいただきたいと感じた。●感じとしては「アンチパチンコ」と受け止めた。●宝くじ、競馬、競輪…沢山ある中で何故パチン



PTB Quarterly Report 第3号「女性のパチンコ依存に関するNHKの番組」を録画し感想集約

コ、パチンコとなるのか?逆に言うと、それだけパチンコが人気レジャーとして位置付けが高いから、それだけ身近になっているということ。そういう意味で、うまく、楽しく、つき合ってもらえるようなパチンコに出来るように業界を持っていかないといいと思う。●昔と違って沢山のストレスを抱えている今の時代に、パチンコとかそういうはげ口がなかったらどうなってしまうのか?パチンコは人気娯楽という素晴らしい役割を果たしている。ただ、ごく一部で問題のある人がいらっしやるかもしれないが、それはその方の事情であって、それをこの業界をバッシングというのはおかし。むしろ大多数の方は楽しんで日常生活のストレスをパチンコをやることによって、また新しい力をもらって明日に向かっていくというところが大きいのではないかとと思う。●「依存問題」というのは社会問題だと捉えられている。パチンコが無くなれば、この問題が無くなるわけではない。想像の中でも、「ひとり暮らし」「それでそこに人がいるという場所に行こうという事でもって、自分の寂しさとバランスを取っているのではないかと?そういう意味で、社会問題としても依存問題という事を考える必要があるし、逆に、パチンコがそういう意味で地域の一つのコミュニティの場所になっている。そういう意味で、そこに求めているものを、主体的な立

G.T.N.

Get The News

場から言うと、まさにそういうコミュニティの場であるパチンコ店をどんどん追求してこうというのが、こちら側の責務ではないかと思う。[出席委員・社員会社担当者ら各氏の感想ゆえ、レポートに志実にコメント原文を転載。加えて参考文献として、リカバリーサポート・ネットワークHPより設立及び活動趣旨が紹介されている

なお、第5回評価調査は、昨年改

訂された「PTB評価基準」に沿って、2012年5月下旬から編ダイナム、同6月中旬から夢コーポレーション(株)が予定されている。更にPTB会計基準も「J-SOX法」や「国債会計基準」、「株式会社担当」を中心に見直しを図り、改訂へ。近々の発表に向けて準備中という。また有識者懇談会として「有識者メッセージ第4弾」を発信予定。「知パチンコ」と、仮に名付けている「パチンコ遊技

を真面目に取り上げ、発言する知識人」が目立つようになってきている。昨今、パチンコの疑問・質問に誠実に答えていけるようにするため、今後「パチンコQ&A100問」(仮称)のような資料を作成するための準備作業に取り組むと共に、広く公開していく事を目指していきたい」と事務局側の方針を明記している。

『VQnet』1月度レポート、P機新台は話題機、S機は現行主力機が増加!!

㈱バリュー・クエスト代表取締役社長/山田徳成氏は、『VQnet』「中古遊技機市場動向レポート」1月分を発表。成約件数総合ランキングトップ50での種別内訳は、パチンコ27機種(450件(前月比157件増))で、パチスロ23機種345件(同21件増)。P機新台で既存シリーズを含む16タイトル(26機種)、S機新台は3タイトルの導入が。P機では『エヴァンゲリオン7』、S機では『鉄拳2nd』に注目、TVMは市場で好感、掲載数は減少で価格はほぼ購入額レベルで推移。大・両会装の遊技機種の不具合発覚で該当5タイトル機種について流通停止の措置も報告。S機は大量導入の新型新台に連動するように、現行主力機の掲載数増加に…。

パチンコ業界が支援する『ワンダーポータル』が『10年間の報告書』発行

2000年4月に横浜市瀬谷区本郷のマンション1室にて、常勤スタッフ1人(現在の中村理事/施設長)から産声を上げた『認定NPO法人ワンダーポータル』が、『10年を振り返って』と題した報告書を発行。『NPO法人依存学推進協議会・研究助成事業報告書』も兼ね、副題にある「★ワンダーポータル10年間のギャンブル依存からの回復支援と利用者の変化の調査」★10周年フォーラム・平成23年2月13日(日)『報告』の2項が目玉を引く。ギャンブル依存からの回復支援のための施設等は、今では日本国内でいくつかが存在するが、同施設が運営を開始した10年前には、こうした専門施設は国内でも同施設以外には無かった。その意味でも先駆的な存在で10年間のワンダーポータル利用者、年齢層、地域性などの基礎データを纏



10周年フォーラムの概要も収録した報告書

めたのが、この報告書。A4版で全73ページ。詳細はTEL.045-303-7621まで。

全日遊連機関誌『遊報』DVD版が完成!!、平成3年4月号・創刊号から同23年12月号・第247号までを電子書籍化、HPでも閲覧可能

全日遊連創立20周年記念事業の一環として制作が進められていた機関誌『遊



報』のDVD版が完成し、2月下旬より各都府県方面組合に配付された。このDVDは、創刊号(平成3年4月号)から第247号(平成23年12月号)までの『遊報』を電子書籍化したもの。事務局・広報サイドは「キーワード検索機能が付いており、過去の過去記事も簡単に検索可能」と説明。詳細はTEL.03-3260-7380まで。

『島田療育センター』開設50周年記念式典を2/7挙、感謝状贈呈や記念講演、食事も…

遊技業界有志が結束し運営する『守る会』が、長きに亘り継続支援する日本最初の重症心身障害児施設『島田療育センター』が満50周年を迎え、2月7日に京王プラザホテル多摩を会場とし開設50周年記念式典を盛大に挙